

社会貢献活動



■ 大和銀行グループカップ特別協賛

平成13年10月7日から11月23日まで、大阪サッカー協会主催の第25回大阪府知事杯大阪少年サッカー選手権大会が行われ、当行と近畿大阪銀行が特別協賛しました。大阪府と大阪府教育委員会が後援し、大阪府の小学生を対象としたこの大会に、今回は203チーム、約4,000人の少年たちが参加しました。

■ 財団法人大和銀行アジア・オセアニア財団の活動

本財団は、当行創業70周年記念事業の一環として、平成元年10月に設立されました。設立以来、アジア・オセアニア諸国・地域との相互理解を深め国際交流に貢献していくことを目的として、当該地域に関する個人および共同研究への助成、国際会議・シンポジウムの開催などに対する助成事業を行ってきました。

事業実績としましては、平成13年度には、24の案件に対し2,320万円の助成金の交付を行い、設立以来の調査研究・国際交流活動に対する助成累計は、119テーマ、2億8,200万円に達しています。

また、これまでの研究の成果は、論文として発刊あるいは学術誌へ公表されるなど、順次社会に還元されています。



■ 第8回大和銀カード日曜画家・写真家展

平成13年11月、株式会社大和銀カードは当行と近畿大阪銀行の協賛により、「第8回日曜画家・写真家展」を当行本店で開催しました。今回は、ダイワカード会員、当行、近畿大阪銀行のお取引先よりお寄せいただいた油絵287点、写真132点の力作に、特別出品のアランジアロンゾとダイワカード倶楽部の表紙を飾る井上りえさんのイラスト原画36点を加えた合計455点が展示され、期間中の来場者は、3,400人を超える盛況ぶりでした。

また、恒例のチャリティー作品展示即売会の売上金141万円は、社会事業福祉資金として日本赤十字社に全額寄付されました。

■ 大輪会(だいらんかい)活動

当行がその一員として参加している大輪会は、平成2年に大阪市鶴見区で開催された「国際花と緑の博覧会」へのパビリオン出展のために、地元関西で生まれ育った企業40社が集まり、昭和62年に発足しました。以来関西で生まれ育った企業が従来の企業グループの枠を超えて幅広く結束を固め、地元関西の発展・活性化に貢献するという理念の下に、関西国際空港旅客ターミナルビルへのモニュメント(フライングモビール)の寄贈や「なみはや国体」、「東アジア競技大会」へのボランティア派遣など、多彩でユニークな地域貢献活動を続けています。平成14年5月現在、会員企業は56社となっています。

最近の活動では、平成14年1月に「アジアと共栄する世界都市関西の創造」をテーマに、アジアとの連携・交流の在り方を探ることを目的に、「大輪会国際シンポジウム」を開催しました。

また、アジア諸国からの留学生支援施策の一環として、平成13年11月に「関西文化学術研究都市」の視察会を開催し、最先端の技術に触れる機会を提供し、平成13年11月と平成14年1月には、国立文楽劇場で公演された人形浄瑠璃「文楽」に留学生を招待して、日本の伝統芸能に触れる場を提供しました。次世代を担う青少年に夢を与え、理工系離れを防止することなどを目的に、平成13年7月に大阪で開催された「ロボット創造国際競技大会：ロボフェスタ関西2001」に協賛し、大会の運営を支援しました。